

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	研究ゼミナール（Seminar of Study）		
ナンバリングコード	J31702	大分類 / 難易度 科目分野	機械電気工学科 専門科目 / 応用レベル 研究キャリア
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	必修		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	J181556	クラス名	穂刈研究室
担当教員名	穂刈 一樹		
履修上の注意、 履修条件	卒業研究を体験することが科目になります。バイオメカニクスに関する研究を実施するため、興味のある学生は選択して下さい。		
教科書	特になし。		
参考文献及び指定図書	研究室および図書館にある書籍を使います。適宜、関連する論文・資料を配布します。		
関連科目	卒業研究，材料力学1，材料力学2		

○基本情報		
授業の目的	機械電気工学科の4つのディプロマ・ポリシーに基づき、半年間の研究体験を行います。本講義は4年次「卒業研究」に向けた準備的な研究活動を実施し、円滑に卒業研究に取り組めるよう基礎的な技術を修得してもらいます。	
授業の概要	上記の「授業の目的」を達成するために、以下の項目について学生自らが考え、取り組んでもらいます。 ・バイオメカニクスの基礎を学ぶ。 ・研究テーマに関連した計測技術や解析手法を修得する。 ・文献を調査し、理解する。 ・発表原稿の作成とプレゼンテーションの実施をする。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「実験実習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	日々の研究ゼミナールを実直に行い、その成果を期日までにまとめることができる。		10点	10点
【知識・理解】	研究ゼミナールを実施する中で、自ら進んで参考資料を検索し必要な知識を集め理解を深めることができる。更に、得た知識を日々の研究活動にフィードバックできる。		10点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	研究ゼミナールに必要な測定技術技能の向上や、プレゼンテーションを通じて研究成果を他者へ説明するための表現力の向上、指導教員や他者と進んでコミュニケーション・議論を行うことができる。		15点	20点
【思考・判断・創造】	研究課題を理解し、現状の問題点と解決策を挙げ、研究活動において必要な検討を自ら考え実施することができる。またそれを発表資料に適切に明記することができる。		15点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 各種課題のフィードバックは、成果発表の際に行う。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他
グループで話し合いながら、不明点等を協力しながら解決して下さい。社会にある解決すべきことを発見し、それを解決するための方法を考え、その結果得られたことを考察する力を養成していきます。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	研究ゼミナール（Seminar of Study）	授業コード	J181556
	担当教員	穂刈 一樹		
学修内容				
1. ガイダンス				
学生同士の自己紹介，研究の候補テーマの説明をし，各自のテーマを決定します。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
実施した内容についてまとめておく。				
2. バイオメカニクス(1)				
バイオメカニクスの基礎について説明します。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
学んだ内容についてまとめておく。				
3. バイオメカニクス(2)				
学んだ内容について発表を行います。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
学んだ内容についてまとめておく。				
4. バイオメカニクス(3)				
学んだ内容について発表を行います。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
発表資料を完成させる。				
指摘箇所を修正する。				
5. 実験手法の修得(1)				
人間の動作に関する計測を行うにあたり，その測定原理を学びます。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
実験手法について調べておく。				
実施した内容についてまとめておく。				
6. 実験手法の修得(2)				
人間の動作に関する計測を行います。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
実験手法について調べておく。				
実施した内容についてまとめておく。				
7. 実験手法の修得(3)				
測定したデータをまとめます。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
測定したデータを整理しておく。				
実施した内容についてまとめておく。				
8. 解析手法の修得(1)				
有限要素解析について説明します。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
有限要素解析について調べておく。				
実施した内容についてまとめておく。				

○授業計画		科 目 名	研究ゼミナール（Seminar of Study）	授業コード	J181556
		担当教員	穂刈 一樹		
学修内容					
9. 解析手法の修得(2)					
ソフトウェアを使用して，有限要素解析を行います。					
予習		前週の残りがある場合は，完成させておく。			約2時間
復習		実施した内容についてまとめておく。			約2時間
10. 解析手法の修得(3)					
解析の結果をまとめます。					
予習		解析結果を整理しておく。			約2時間
復習		実施した内容についてまとめておく。			約2時間
11. 文献調査(1)					
文献の調査方法を説明し，研究テーマに関連する文献を探します。					
予習		研究テーマについて理解を深めておく。			約2時間
復習		実施した内容についてまとめておく。			約2時間
12. 文献調査(2)					
探した文献を読んでまとめます。					
予習		文献を読んでおく。			約2時間
復習		実施した内容についてまとめておく。			約2時間
13. 文献調査(3)					
前週に引き続き，探した文献を読んでまとめます。					
予習		文献を読んでおく。			約2時間
復習		実施した内容についてまとめておく。			約2時間
14. 発表資料の作成					
これまでの活動を踏まえて，発表資料を作成する。					
予習		PowerPointの使用方法を確認する。			約2時間
復習		発表資料をまとめる			約2時間
15. 成果発表および報告書の作成					
成果発表を行い，報告書の作成を行います。					
予習		発表資料を完成させる			約2時間
復習		指摘箇所を修正する			約2時間
16.					
予習					
復習					